

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 6 年 6 月 7 日(2024.6.7)

【公開番号】特開 2023-41315(P2023-41315A)  
【公開日】令和 5 年 3 月 24 日(2023.3.24)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-055  
【出願番号】特願 2021-148613(P2021-148613)  
【国際特許分類】  
G 0 6 F 3/04845(2022.01)  
【F I】  
G 0 6 F 3/0484150

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 5 月 30 日(2024.5.30)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

文字列と図形との少なくとも一方を表す 1 又は複数の第 1 オブジェクトが配置された第 1 画像において空白の広さを変更する場合の基準となる基準位置を取得すること、  
前記 1 又は複数の第 1 オブジェクトのうち、前記基準位置を含む所定範囲内に位置する第 1 オブジェクトを移動対象オブジェクトとして特定すること、及び、  
前記移動対象オブジェクトを移動するための操作がユーザーによって為された場合、前記操作に応じて移動対象オブジェクトを移動すること、  
を含む、画像編集支援方法。

30

【請求項 2】

前記操作は、前記空白を広げるための第 1 操作と前記空白を狭めるための第 2 操作とを含み、  
前記操作が、前記第 1 操作と前記第 2 操作との何れであるかに応じて前記移動対象オブジェクトを移動する移動方向を特定すること、を更に含む、  
請求項 1 に記載の画像編集支援方法。

【請求項 3】

前記第 1 操作に対応する前記移動方向は、前記移動対象オブジェクトが前記基準位置から遠ざかる方向であり、  
前記第 2 操作に対応する前記移動方向は、前記移動対象オブジェクトが前記基準位置に近づく方向である、  
請求項 2 に記載の画像編集支援方法。

40

【請求項 4】

前記所定範囲の外縁を示す第 2 画像を前記第 1 画像に重ねて表示すること、を更に含む  
請求項 1 乃至 3 のうちの何れか 1 項に記載の画像編集支援方法。

【請求項 5】

前記操作を受け付けるための第 2 オブジェクトを前記基準位置に表示すること、を更に含む、  
請求項 1 乃至 3 のうちの何れか 1 項に記載の画像編集支援方法。

【請求項 6】

前記所定範囲は、前記第 1 画像において前記第 2 オブジェクトが存在する範囲である、

50

請求項 5 に記載の画像編集支援方法。

【請求項 7】

前記移動対象オブジェクトを、前記第 2 オブジェクトの形状に応じて定まる軸に沿って移動させる、請求項 5 又は請求項 6 に記載の画像編集支援方法。

【請求項 8】

前記操作が継続している期間の長さに応じて前記移動対象オブジェクトの移動量の上限が定められる、請求項 1 乃至 7 のうちの何れか 1 項に記載の画像編集支援方法。

【請求項 9】

前記所定範囲と重ならなくなった前記移動対象オブジェクトの移動を停止すること、を更に含む請求項 8 に記載の画像編集支援方法。

10

【請求項 10】

前記第 1 オブジェクトの外縁を示す第 3 画像を前記第 1 画像に重ねて表示すること、を更に含む、請求項 1 乃至 9 のうちの何れか 1 項に記載の画像編集支援方法。

【請求項 11】

前記 1 又は複数の第 1 オブジェクトのうち前記移動対象オブジェクトとは異なる第 3 オブジェクトが前記第 1 画像に配置される場合、

前記移動対象オブジェクトを移動させることより前記移動対象オブジェクトの中心と前記第 3 オブジェクトの中心との間の距離が予め定められた閾値未満になった場合、前記第 3 オブジェクトを前記移動対象オブジェクトとともに移動させること、を含む、

請求項 1 乃至 10 のうちの何れか 1 項に記載の画像編集支援方法。

20

【請求項 12】

文字列と図形との少なくとも一方を表す 1 又は複数の第 1 オブジェクトが配置された第 1 画像を表示する表示装置と、

処理装置と、を備え、

前記処理装置は、

前記第 1 画像において空白の広さを変更する場合の基準となる基準位置を取得すること

、  
前記 1 又は複数の第 1 オブジェクトのうち、前記基準位置を含む所定範囲内に位置する第 1 オブジェクトを移動対象オブジェクトとして特定すること、及び、

前記移動対象オブジェクトを移動するための操作がユーザーによって為された場合、前記操作に応じて移動対象オブジェクトを移動すること、を実行する、

30

画像編集支援装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本開示の画像編集支援方法の一態様は、文字列と図形との少なくとも一方を表す 1 又は複数の第 1 オブジェクトが配置された第 1 画像において空白の広さを変更する場合の基準となる基準位置を取得すること、前記 1 又は複数の第 1 オブジェクトのうち、前記基準位置を含む所定範囲内に位置する第 1 オブジェクトを移動対象オブジェクトとして特定すること、及び、前記移動対象オブジェクトを移動するための操作がユーザーによって為された場合、前記操作に応じて移動対象オブジェクトを移動すること、を含む。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

50

本開示の画像編集支援装置の一態様は、文字列と図形との少なくとも一方を表す 1 又は複数の第 1 オブジェクトが配置された第 1 画像を表示する表示装置と、処理装置と、を備える。前記処理装置は、前記第 1 画像において空白の広さを変更する場合の基準となる基準位置を取得すること、前記 1 又は複数の第 1 オブジェクトのうち、前記基準位置を含む所定範囲内に位置する第 1 オブジェクトを移動対象オブジェクトとして特定すること、及び、前記移動対象オブジェクトを移動するための操作がユーザーによって為された場合、前記操作に応じて移動対象オブジェクトを移動すること、を実行する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、揮発性メモリーには、プログラム 142 を処理装置 110 に実行させる過程で生成される情報が記憶される。プログラム 142 を処理装置 110 に実行させる過程で生成される情報には、オブジェクトを表すオブジェクト情報 144 が含まれる。オブジェクト情報 144 は、オブジェクト毎に生成される。図 4 は、オブジェクト情報 144 の一例を示す図である。図 4 に示されるように、オブジェクト情報 144 には、オブジェクトの筆記位置を示す位置情報、オブジェクトの範囲を示す範囲情報、及びオブジェクトの内容を示す内容情報が含まれる。位置情報はオブジェクトの中心の座標、より具体的にはオブジェクトに外接する最小の矩形の中心の座標を表す。範囲情報はオブジェクトに外接する最小の矩形の大きさを表す。内容情報は当該矩形内に筆記された文字列、図形、又は図形と文字列との組み合わせの画像を表す。以下では、オブジェクト情報 144 により中心の座標、範囲及び内容が表されるオブジェクトは筆記済オブジェクトと称され、オブジェクト情報 144 の示す範囲を区画する矩形は筆記済オブジェクトの外縁と称される。筆記済オブジェクトは、本開示における第 1 オブジェクトの一例である。

20

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本実施形態では、表示制御部 110a は、表示画像 PS においてユーザーにより指定される基準位置を中心とする空白の広さをユーザーに指定させるためのツールに対応する複数種のオブジェクトを配列したツールバーを表示画像 PS に付与する。以下、ツールに対応するオブジェクトはツールオブジェクトと称される。図 5 は、表示画像 PS の一例を示す図である。図 5 に示される表示画像 PS には、筆記済オブジェクト OB1、筆記済オブジェクト OB2、筆記済オブジェクト OB3、筆記済オブジェクト OB4、及びツールバー TLB が配置されている。図 5 に示す表示画像 PS には、4 つの筆記済オブジェクトが配置されているが、表示画像 PS に配置される筆記済オブジェクトの数は 1 乃至 3 であってもよく、また、5 以上であってもよい。要は、表示画像 PS に 1 又は複数の筆記済オブジェクトが配置されればよい。

40

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

筆記済オブジェクト OB1 は文字列と円とからなるオブジェクトである。筆記済オブジェクト OB2 は文字列と 2 つの三角形とからなるオブジェクトである。筆記済オブジェ

50

ト O B 3 は星型の図形からなるオブジェクトである。筆記済オブジェクト O B 4 は文字列からなるオブジェクトである。なお、図 5 における点線は筆記済オブジェクトの外縁を示す。本実施形態では、筆記済オブジェクトの外縁を明示するために図 5 において点線で描画された各矩形を表す画像が表示画像 P S に重ねて表示される。図 5 において点線で描画された各矩形を表す画像は、本開示における第 3 画像の一例である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0 0 4 5】

( 4 ) 上記実施形態では、ツールオブジェクトを用いて基準位置の指定が行われたが、表示画像 P S に対するタップ等により基準位置が指定され、当該基準位置を中心する所定の大きさの円又は矩形の内部が所定範囲とされてもよい。当該基準位置を中心する所定の大きさの円又は矩形の内部を所定範囲とする態様においては、当該所定範囲内の任意の点を指示体 5 0 0 を用いて押下し続ける操作を大きさ指定操作とすることが考えられる。つまり、ツールオブジェクトは本開示の必須構成要素ではなく、省略可能である。ツールオブジェクトを用いない態様では、配置処理 S A 1 2 0 及び判定処理 S A 1 3 0 は省略可能である。ツールオブジェクトを用いない態様では、ツールバー T L B の表示も不要である。ツールバー T L B を表示しない態様では、指定支援処理 S A 1 1 0 はプロジェクターにお  
ける一般的な処理である。従って、本開示の編集支援方法は、取得処理 S A 1 4 0、特定  
処理 S A 1 5 0、及び移動処理 S A 1 6 0 を含んでいればよい。なお、ツールオブジェクト  
を用いない場合、所定範囲をユーザーに明示するため、所定範囲の外縁を示す画像が表  
示画像 P S に重ねて表示されてもよい。

20

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

30

( 5 ) 移動対象オブジェクトの移動対象オブジェクト以外の筆記済オブジェクトとの区別が明瞭となるように、移動対象オブジェクトの外縁を示す画像と移動対象オブジェクト以外の筆記済オブジェクトの外縁を示す画像とで、外縁を表す線の種類と色の少なくとも一方が異なってもよい。なお、移動対象オブジェクト及び移動対象オブジェクト以外の筆記済オブジェクトの外縁を示す画像の表示は必須ではなく、省略されてもよい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 5 2】

本開示の一態様の画像編集支援方法は、取得処理 S A 1 4 0、特定処理 S A 1 5 0、及び移動処理 S A 1 6 0 を含む。取得処理 S A 1 4 0 は、文字列と図形との少なくとも一方を表す 1 又は複数の筆記済オブジェクトが配置された表示画像 P S において空白の広さを変更する場合の基準となる基準位置を取得する処理である。筆記済オブジェクトは本開示における第 1 オブジェクトの一例である。表示画像 P S は本開示における第 1 画像の一例である。特定処理 S A 1 5 0 は、前記 1 又は複数の筆記済オブジェクトのうち、前記基準位置を含む所定範囲内に位置する筆記済オブジェクトを移動対象オブジェクトとして特定する処理である。移動処理 S A 1 6 0 は、前記移動対象オブジェクトを移動するための操作がユーザーによって為された場合、前記操作に応じて前記移動対象オブジェクトを移動

50

する処理である。本態様の画像編集支援方法によれば、移動対象オブジェクトを移動するための操作に応じて移動対象オブジェクトを一括して移動することができるので、1又は複数の筆記済オブジェクトを配置済の表示画像PSに対して簡単な操作で所望の広さの空白を作ることが可能になる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

10

より好ましい態様の画像編集支援方法では、前記操作には、前記空白を広げるための第1操作と前記空白を狭めるための第2操作とが含まれてもよい。前記操作に前記第1操作と前記第2操作とが含まれる場合、前記操作が、前記第1操作と前記第2操作との何れであるかに応じて前記移動対象オブジェクトを移動する移動方向が特定されてもよい。具体的には、前記第1操作に対応する前記移動方向は、前記移動対象オブジェクトが前記基準位置から遠ざかる方向であればよい。また、前記第2操作に対応する前記移動方向は、前記移動対象オブジェクトが前記基準位置に近づく方向であればよい。本態様では、移動対象オブジェクトは第1操作に応じて基準位置から遠ざかる方向に移動する。また、移動対象オブジェクトは第2操作に応じて基準位置に近づく方向に移動する。本態様によれば、空白を広げるための第1操作又は空白を狭めるための第2操作を行うことにより、移動対象オブジェクトを一括して移動させることができるので、1又は複数の筆記済オブジェクトを配置済の表示画像PSに対して簡単な操作で所望の広さの空白を作ることが可能になる。

20

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

別の好ましい態様の画像編集支援方法では、前記所定範囲の外縁を示す一点鎖線の画像が筆記済オブジェクトに重ねて表示されてもよい。前記所定範囲の外縁を示す一点鎖線の画像は本開示における第2画像の一例である。本態様によれば、前記所定範囲の外縁をユーザーに明示することができる。

30

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

別の好ましい態様の画像編集支援方法では、筆記済オブジェクトの外縁を示す画像が表示画像PSに重ねて表示されてもよい。筆記済オブジェクトの外縁を示す画像は本開示における第3画像の一例である。本態様によれば、筆記済オブジェクトの外縁をユーザーに明示することが可能になる。

40